

ここが
ポイント！

取引注意！こんなリングはご用心！

■海外製格安リング

とにかく安いのが売りです。リングに対する設計思想が簡略で、特に組み立て解体を繰り返す用途では、狂いが生じやすい物が多いです。また、床板およびマット、キャンパスなどの材料に耐久性が乏しいものは、最初は綺麗なのですが、交換時期が短い物があります。上記の理由もあり、日本国内のリングとの見た目部分での違いが多く、撮影やお芝居の用途ではイメージから外れてしまうことが多い様です。そして海外製リングでもっとも困る点が消耗品手配です。通常なら消耗品交換で済むレベルのメンテナンスでも、大掛かりな改修になってしまう事が多く、長年使うと結局は高い買い物になってしまいます。格闘技は危険な競技です。しかし選手はリングの安全には全幅の信頼を寄せています。選手の安全担保の為にともリングにはメンテナンスがあるという事を忘れないで頂きたいのです。

■アンカー留め（杭打ち）リング

いわゆるベッタリ床面型のリングです。高床式リングに比べ構造材料を大幅節約できるので、有名リングメーカーでも取り入れている方式です。材料費が節約できるので安いのが特徴です。節約した構造分の剛性を確保するために床（主にコンクリート）にアンカーボルトを打ち込みます。リングでは4本のコーナーポストが互いに引き合い中央に寄る力が発生します。その力は場所によって通常で数百キロ、瞬間的には数トンの力がかかると言われています。これを処理しきれない構造的な2つの理由があり、この方式のリングの故障のほとんどの原因となっています。床は基本的に垂直方向への応力は想定しますが、このように床を強力に水平方向にひしゃげる力を想定して床を設計した建物は非常に稀であるということ。もう一つは、リングにかかる力がほとんどアンカーにかかり、繰り返しの強い衝撃がコンクリート土台に微細なヒビを発生させ、大きな力が発生するタイミングでコーナーポストが倒れこんでくる事故が発生します。上記のような理由で弊社ではアンカー式リングの生産や設置は行っていません。

■出所不明の中古リング

リングも大切な道具です。長年大切にに使っていただきたいものです。中古であっても良いものは継続して使用していきたいと願っております。しかしすべのリングが幸せな半生を送っているわけではありません。前のオーナーのメンテナンスの良し悪しや使用状況の差で中古リングと行っても状態は千差万別です。そこで中古リングでの難点をいくつかご紹介しましょう。

①ロープを張りっぱなしにしていたリング

ロープが伸びてしまうので、正しいテンションが得られなかったり、構造関係に狂いが生じてしまいます。そのまま使用すると倒壊することもあり危険です。

②使用回数の多いリング

使用回数が多いとロープに対する接触が多いので、その応力がコーナーポストに集約されます。このストレスが何万回と加わることで、針金を何度も曲げていると折れてしまうように、目には見えない材質の変化が起こり、ある日折れたり曲がったりする事故がおきます。コーナーポストは構造の心臓部分ですので異常を見つけたら即メンテナンスをオススメします。

③適切な手入れが行われていないリング

最初にあげたロープの扱いは言うに及ばず、キャンパスシートの乾燥や、床板の除虫など定期的に行うべきメンテナンスがあるだけでかなりのアンチエイジングとなります。

ご注意
ください！

上記のような理由を見極めるには熟練した慧眼が必要で品物を見るだけでは通常判断できません。

中古リングを導入する際は必要なメンテナンスを行っていた信頼できるオーナーや、取引後も継続してメンテナンス可能な業者からの入手が肝心です。



エコクラフト 代表取締役
瀬 佑介